

小山勇朗市議会報告

平成 29 年
10 月 31 日

社民党仙台市議団
太白事務所



第3回定例議会10月12日に終了しました。

今議会は、郡和子新市長になって最初の議会であります。

所信表明では、街づくりの基本的な考え方については、「まち」のあり様を考えたとき、その主役は常に「人」であり、市民の命や健康、財産はもとより、本市の文化や歴史、自然など「守るべき」ものをしっかり守りながら、その力を十分に「活かせる」まちづくりを市政運営の理念としていくとしました。その上で「市民が健やかに安心して暮らせるまちづくり」については「いじめ防止条例」の制定など再発防止、35人以下学級の拡充、仙台版奨学金制度の創設などを検討して行くと述べ、「復興なくして仙台の未来はない」として復興の取り組みを強調しました。また、「まちの魅力と活力の向上推進」については、経済の活性化と交流人口の拡大、起業や創業の促進、東北各地域戸ノ観光連携による東北全体の集客力の向上を掲げました。そして、これらのまちづくりを「市民の皆様との協働により推進していく」ことを強調しました。

平成29年第3回仙台市議会は、9/11～10/12まで開かれ、平成28年度一般会計・特別会計・企業会計の決算認定はじめ、24件の議案を審査しました。一般会計の決算では、東日本大震災の復興事業の進捗を反映して、対前年比の歳入で9.4%減（総額4,889億円）、歳出では8.9%の減少となりました。単年度で見た一般会計では33億円余の黒字決算となりましたが、それは復興予算が事業の積み残しなどによる残額を計上したことによるもので、実質的には赤字決算であり、経常収支比率の悪化などが明らかになっています。企業会計では、水道、下水、ガス、病院は各企業とも黒字を計上しましたが、病院は旧市立病院跡地の売却益によるもので、実質的には厳しい状況に変わりはないことが明らかになっています。バス事業は、地下鉄東西線開業の影響もあり、乗客数、収入とも減少し、資金不足率がさらに悪化するなど、経営が危機的状況にあることは変わりません。



市・県民税負担割合を変更

教職員の給与負担などの為。

条例案等では、県費負担教職員の給与負担が都道府県から指定都市へ移譲されたことに伴い、都道府県民税と市町村民税の所得割の標準税率について、市民税の所得割りは100分の6から8へ、県民税は100分の4から2にすること、家庭的保育事業に供する固定資産税及び都市計画税の免除などのための仙台市市税条例の改正案が提案されました。また、東日本大震災の被災者などの入学金及び授業料等を引き続き減免することができるための仙台市学校条例の一部を改正する条例も提案されまし

た。更に、今泉・松森清掃工場の施設整備改修工事費、東部復興道路の嵩上げ工事費、(仮称)錦丘中学校の校舎等の新築工事費にかかる工事請負契約の件も上程されました。その他、人事案件では教育委員の選任に関する案件も上程され、これら全て承認・可決されました。

◎小山勇朗議員は、



決算等審査分科会および全体会で質問を行いました。

分科会では、私立認定こども園の職員に対する時間外手当の不支給問題について、経過と仙台市の指導内容、労働基準監督署の指導について正しました。現在は経営者と組合の協議になっているが、保育士の皆さんは忙しい中で必死に働き、時間外ももらえるものと考えていましたが、これまで全く支払われないということで、組合を作り、市の子ども未来局や監督署に状況報告をされたとのことでした。経営側は金がないと言って未だに支払われていない。今、政府のほうでも働き方改革ということで、時間外での働きすぎによる自死問題を厳しく扱っています。今回の未払い賃金については労働の対価であり、裁判になっていくと思いますが頑張ってもらいたいと思います。その他には、待機児童の解消などを質問しています。また、全議員出席の全体会では、平成28年度の市債残高と臨時財政対策債の縮減対策を求めるとともに、市税の収入未済額53億1108万円について、この内、市税だけで36億円となっており、未済の理由と取組みについて求め、債権管理推進会議における判断が強く求められるので十分な論議を行い、債権放棄含め対策を講じるよう求めました。

つじ隆一議員が代表質疑、

ひぐちのりこ議員・石川けんじ議員が一般質問

つじ議員は、9/19に社民党仙台市議団を代表して質疑を行いました。

まず、市民協働は仙台市政の伝統的なまちづくりの手法であるが、郡市政どのように推進して行くのかを質し、郡市長は「前市長から受け継いだ市民協働を市政運営の柱に据えることが重要。市民の力を結集し、魅力あるまちをつくりあげていきたい」と答弁しました。また「若手の育成」について以前から求めてきた支援制度の施策の推進については、「地域では町内会の高齢化や担い手不足が深刻化し、若者を含む幅広い世代の担い手としての育成が重要であり、支援のあり方を検討して行く」と答弁しました。経営面で厳しい局面に立たされている市バス事業について、「市民の足を守り、移動する権利を保障する視点からバス事業を公営事業として存続させるべきではないか」と質したのに対し、「市バスは市民の足として公共交通の中で中心的な役割を果たしていくべきものであり、安定的、持続的な経営に向けて意を用いていく」と前向きな答弁を引き出しています。その他、市政運営にシンクタンクの活用、「協働まちづくり推進条例」に対する市民の認知度の向上策、災害対応法制の見直し、

県の広域防災拠点整備への対応と本市の復興メモリアル事業のあり方、臨時財政対策債増加への対応策、地域交通政策への責務と市民協働の取組み等を取り上げました。

一般質問の、ひぐちのりこ議員は、LGBTに総称される性的少数者理解のため、住民への啓発や研修について質し、市民講座などで啓発。文科省の資料を活用して教職員の認識を深めたいという答弁を得ています。また、県で行った仙台・宮城の夏の観光キャンペーンPR動画についても質しています。

石川けんじ議員は、公共施設の老朽化に伴う財政問題を取り上げ、これに対し、地方自治の根幹と言える住民福祉の増進を目的に設置されている重要な施設であると答弁されています。また、住民自治の主体であり、利用者でもある住民の皆様と今後のあり方や取り扱いについて合意形成を図った上で協働して進めたいと答弁されています。その他に、公共施設総合マネジメントプランの進捗状況、将監市民センター等の複合化に向けたモデル事業などを取り上げました。

採択された国への意見書・全会一致で採択

- ☆大災害時の法制度に関する抜本的な見直しを求める件
- ☆免税軽油制度の継続を求める件
- ☆卸売市場の法のみなおしを丁寧に行うことを求める件



☆社民党仙台市議団・平成30年度

予算に関する要望書提出☆



(郡市長に要請する・つじ代表)

去る10月12日に郡市長に対し、市政運営に関する要望17項目、全市的な要望91項目、各区要望77項目を提出しました。郡市長は要望書について目を通し、全体的な問題として予算化できるものから判断していきたい。市民協働の市政方針も踏まえていきたいという答弁でした。具体的な内容は以下の通りです。

市政運営に関する要望は、条例制定として、子どもの権利、いじめ防止、交通基本、給付型奨学金、公契約、公文書管理、学校給食公会計の6点を求めています。

また、透明性の高い市政運営・行財政改革などに関しては、①被災者の生活再建サポート組織と人員体制、②業務委託を含む各種請負契約は構成・適正な入札制度の確立、③指定管理者制度の拡大中止など、④コンプライアンスの遵守、過重労働の解消にむけた適正な人事管理、⑤非正規雇用促進の処遇改善と地方公務員法改正に伴う非正規拡大の改善、⑥外郭団体で働く職員の労働条件の向上など。

市民生活に関しては、①非核平和都市の宣言、②国民健康保険の都道府県化にあたっては、加入者の立場に立った適正な保険料を、③女川原発の稼働の永久停止・廃炉を東北電力と宮城県に申し入れを、④石炭火力発電所の新設・稼働に当たっては、住民の生活環境及び地球温暖化対策の視点に立った対策を講じる事について申し入れております。全市的な要望については各局ごとに整理して要望しています。

太白区の要望について



郡市長と社民党仙台市議団

①都市計画道路郡山・折立線の早期整備促進、南仙台・四郎丸線の凍結を見直し更なる延長を。
 ②中田地区の西浦・前田の両踏み切りを、JRに対し交通渋滞緩和のため線路の高架化を要望すること。
 ③松ヶ丘、恵和町地域に防災対策含め公園の新設を、④市道・緑ヶ丘線の恵和町交差点及び西の平1丁目金剛沢小前交差点に信号機を設置すること、⑤茂庭台地区などをはじめとする郊外部の除雪開始時間早め十分な対策をとること。また歩道のない市道については融雪ではなく除雪を基本とすること。
 ⑥八木山南小学校の校庭の暗渠を早急に整備すること。
 ⑦中田中央公園内にある「サッカー場」は砂嵐による被害が生じている、芝生化を行うこと。
 ⑧中田中央公園の「テニスコート」の全面改修を。
 ⑨中田町堰場「市営バス停・堰場2」前の交差点が危険・信号機の設置を。
 ⑩水害防止に向け、名取川の中洲除去を、民地所有者や地域住民の協力を得ながら行う事。
 ⑪都市計画道路・南仙台四郎丸線の低木植栽および公園の高木・低木の剪定を年3回行う事。
 ⑫四郎丸小学校の改築を計画通り進めること。

⑬都市計画道路八木山・長町線、郡山・折立線の信号間隔・道路障害物の整理、円滑な走行対策と安全強化を。
 ⑭金剛沢小学校近くの八木山と西の平の交差点の信号を両方向にすること。
 ⑮金剛沢3丁目と鉤取3丁目と金剛沢橋の5差路に信号を設置するなど安全対策を。
 ⑯市道・上野山線の上野山1丁目付近の狭隘になっている道路改良を。
 ⑰八木山・香澄町、松波町付近の商店街の歩道・道路を改良し歩行者の安全対策を。
 ⑱山田と太白団地への交差点付近の除草を徹底し、見通しの悪さ解消、児童の通行安全対策、不衛生の解消に努めること

⑲西多賀小学校西側（正門側）の通学路は交通量も多く、非常に危険なので改善すること。また市道の拡幅による通学路の安全対策を十分に行う事について要望しております。これら次年度予算に向けた社民党仙台市議団としての要望については毎年行っております。是非、地域の中で様々な要望、問題について身近な小山勇朗議員にお寄せいただきますようよろしくお願い申し上げます。